

報道関係各位

**患者さんの支援に活用できるアピアランス(外見)ケアリーフレットを新たに2種作成
頭頸部と乳がんの手術後の心構えや外見変化への対処方法を解説**

2023年10月30日

国立研究開発法人国立がん研究センター

発表のポイント

- 中央病院アピアランス支援センターは、これから治療を行う、または治療中のがん患者さん向けに、横浜市と協力してアピアランス(外見)ケアリーフレットを作成しています。
- 髪、爪、肌、眉毛・まつ毛の変化への心構えやセルフケア方法、ウィッグの探し方や選び方を解説する現行リーフレットに、顔や首など手術の傷が目立ちやすい頭頸部のがんや乳がんでの手術後の対応を解説するリーフレット2種を新たに作成し、全7種類となりました。
- がん患者さんご自身のほか、全国のがん診療連携拠点病院などがん患者さんのアピアランスケアに取り組む医療機関でも活用いただけます。

概要

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院(所在地:東京都中央区、病院長:島田和明)アピアランス支援センターでは、横浜市および市内医療者と協力して、がん患者さんが治療中に悩むことの多い髪、爪、肌、眉毛・まつ毛の変化への心構えやセルフケア方法をアピアランス(外見)ケアリーフレットにまとめ、2019年より横浜市内の医療機関をはじめ全国の自治体や医療機関を通じ、患者さんのセルフケアに活用いただいています。

このたび、頭頸部のがんと乳がんの手術後の心構えや外見変化への対処方法を解説するアピアランスケアリーフレットを新たに作成しました。現行のリーフレットと合わせ全7種で活用いただけるようになりました。

頭頸部がん術後のアピアランスケアについては、顔や首の手術の傷など外見の変化が目立ちやすいにも関わらず、患者さん向けの資料がほとんどありませんでした。そのため当センターの知見を活かし、患者さんが安心して過ごすためのケアや心構えについて掲載したリーフレット「頭頸部の手術をする方へ 顔や首に大きく傷が残るといわれたら」を作成しました。

「乳がんの手術をする方へ 術後の見た目を整えるには」では、下着やパットについての説明の他、質問の多い温泉での入浴についても解説しています。また男性乳がん患者さんへの理解を広げるため、男性の経験談も掲載しました。

アピアランスケアリーフレットは、治療前や治療中のがん患者さんご自身をはじめ、患者さんのアピアランスケアに取り組む医療機関の方にもご活用いただけるよう、横浜市および国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センターのウェブサイトよりPDFファイルでダウンロードすることができ、医療機

関では裏面に自施設名を入れて院内配布することもできます(商業目的での使用はお断りしています)。

アピランスケアは、外見の変化に起因するがん患者さんの苦痛を、医学的・整容的・心理社会的支援を用いて軽減するケアで、通院治療の増加等に伴い、男女問わず支援に対するニーズが高まっています。全国のがん診療連携拠点病院等の指定要件においても、患者さんに対する治療に伴う外見変化の説明や情報提供、相談に応じられる体制の整備が2022年8月1日より新たに求められるようになっています。

また、国立がん研究センター中央病院は、わが国のがん対策の中核的機関として、がん診療連携拠点病院等の診療支援等の役割を担っており、本リーフレットについても全国のがん診療連携拠点病院等を通じて、多くの患者さんのアピランスケアに役立てていただきたいと思います。

頭頸部の手術をする方へ 顔や首に大きく傷が残るといわれたら



(表面)

(裏面)

頭頸部の手術をすることで、顔や首に大きく傷が残るといわれた場合の心がまえ、傷や変形への対処方法等を記載しています。「どうしたの?」と聞かれた時の答え方や身近なものを使ったカバーの仕方など、解説しています。

乳がんの手術をする方へ 術後の見た目を整えるには



(表面)

(裏面)

手術直後にも使える下着について、術後の外見変化への対処方法等を記載し、パッドの種類や選び方等を簡単に解説しています。また、男性乳がん患者さんへの理解を広めるために、男性患者さんの体験談も掲載しています。

厚生労働省 がん診療連携拠点病院とは

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/gan/gan_byoin.html

「がん診療連携拠点病院等の整備について」(厚生労働省健康局長通知)(令和4年8月1日)[PDF 形式:275KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/000972176.pdf>

アピランスケアリーフレットについて

アピランスケアについての患者さん向けの資料は、ウィッグや化粧品等のパンフレットが多く、医療者の立場から作成されたものはほとんどありませんでした。そこで2019年に横浜市、横浜市内でアピランスケアに取り組む医療者、国立がん研究センター中央病院の3者の協力により髪、爪、肌、眉毛・まつ毛の変化への心構えやセルフケア方法を解説するリーフレット(A4サイズ、カラー、両面)4種「髪が抜けますと言われたら」「爪に影響が出ますと言われたら」「肌に影響が出ますと言われたら」「眉毛・まつ毛が抜けますと言われたら」を作成しました。2022年にはアピランスケアガイドラインの改訂(2021年10月)に合わせ内容を更新するとともに、「ウィッグを買いいたいと思ったら」のリーフレットを追加作成しています。

今回は外見の変化の大きい頭頸部がんと乳がんの外科手術後の心構えや対処方法を解説するリーフレット「顔や首に大きく傷が残るといわれたら」「術後の見た目を整えるには」を新たに作成しました。

アピランスケアリーフレット(全7種、A4サイズ、カラー、両面)



髪が抜けます
と言われたら

爪に影響が出ます
と言われたら

肌に影響が出ます
と言われたら

眉毛・まつ毛が抜けます
と言われたら

ウィッグを買いたい
と思ったら

NEW

NEW



顔や首に大きく傷が残ると
いわれたら



術後の見た目を
整えるには

配布、入手方法

全国の各病院でのがん患者さんやご家族への説明時などに活用いただけるよう、横浜市及び国立がん研究センター中央病院アピランスセンターのウェブサイトよりダウンロードいただけます。がん治療に関わる医療機関の方は、裏面に自施設名を入れて院内で配布することができます。

国立がん研究センター 中央病院 アピアランス支援センター

患者さん・医療者向け資料 横浜市×アピアランス支援センター アピアランスケアリーフレット

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/appearance/100/index.html>

横浜市

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/gan/taisaku/appearance.html>

注: 商業目的(物販やサービス販売)での配布や内容の引用はご遠慮ください。

注: 患者会などで使用する場合は、アピアランス支援センターまたは横浜市までご連絡ください。

中央病院アピアランス支援センターについて

アピアランス支援センターは、がんやがん治療による外見変化に悩む患者さんの相談に応じ、自分らしく日常生活を送ることができるようにサポートしています。また、外見の悩みを解決するための研究や全国の医療従事者の教育活動、情報提供にも取り組んでいます。

国立がん研究センター中央病院アピアランスセンター

<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/appearance/index.html>

報道機関からの問い合わせ

国立研究開発法人 国立がん研究センター

中央病院 アピアランス支援センター センター長

藤間 勝子

電話番号: 03-3542-2511(代表) E-mail: ap-kenshu@ml.res.ncc.go.jp

機関窓口

国立研究開発法人 国立がん研究センター

企画戦略局 広報企画室

104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号: 03-3542-2511(代表) E-mail: ncc-admin@ncc.go.jp